

# 令和7年度 第2回 喜多方市DX推進協議会 (会議録)

## ■日時

令和8年2月16日(月) 午後2時26分～午後3時20分

## ■場所

喜多方市役所 ホール棟2階 大会議室

## ■出欠

### 1 出席委員(13名)

鈴木崇正委員、高樋昌委員、村上将臣委員、大西尚和委員、山中宏行委員、高橋哲夫委員、佐藤健太郎委員、結城友次委員、和田典久委員、山口稔委員、江川邦徳委員、岩城雅仁委員、物江光一委員

### 2 欠席委員(2名)

渡部孝一委員、渡部正一委員、

### 3 市出席者

(市長) 遠藤忠一、(企画政策部長) 小荒井浩、(企画調整課長) 伊藤博之、(企画調整課長補佐) 藤井慎一、(企画調整課DX推進係長) 五十嵐司、(企画調整課主査) 湯上孝弘、(企画調整課主査) 高橋美樹

## ■次第

委嘱状交付

### 1 開 会

### 2 市 長 挨 拶

### 3 会 長 等 選 出

次のとおり選出した。

(会長) 会津大学復興創生支援センター 准教授 鈴木 崇正 委員  
(会長職務代理者) 会津喜多方商工会議所 サービス業部会 山中 宏行 委員

### 4 会 長 挨 拶

### 5 議 事

(1) 報告事項「前回いただいた意見と対応状況」

(2) 協議事項「第3期 喜多方市DX推進実施計画の進捗状況(令和7年度実績見込)について」

※「議事録」のとおり。

## 6 その他

(事務局より)

今後、会長と調整しながら答申書案を作成し、メール等により各委員にお示しいたします。意見等ありましたらご連絡ください。

その後、会長のもと答申書の最終的な取りまとめを行い、市長へ答申します。

## 7 閉 会

## ■議事録

### 議事(1) 報告事項「前回いただいた意見と対応状況」

※ 事務局が「会議資料」のうち、「【資料1】前回いただいた意見と対応状況」を説明。

【質疑】

なし

### 議事(2) 協議事項「第3期 喜多方市DX推進実施計画の進捗状況（令和7年度実績見込）について」

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画進捗状況」のうち、基本方針1を説明。

【質疑】

なし

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画進捗状況」のうち、基本方針2を説明。

【質疑】

(A委員)

国が進めたシステム標準化について、基幹系システムのみ標準化されたとのことですが、福祉など情報系とのデータの連携が重要なポイントとなります。新しいシステムと情報系システムとの連動について、どのように進めているかご説明をお願いします。

(事務局)

事業 No. 22「情報システムの標準化・共通化」についてですが、システム標準化とは、全国の自治体で同じような仕様のシステムを使おうというものであり、今回、住民基本台帳や税に関するシステムについて標準化が実施されました。他にも波及して広がっていくと思われ、国の方でも検討を進めており、入札参加資格審査や建築確認申請等について検討していると自治体に通知がありましたが、具体的な計画までは示されておりません。将来的には、様々な業務でシステムが標準化され、システム間の連携もスムーズになることにより、経費の節減や事務の効率化につながると考えておりますので、積極的に取り組んでまいります。

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画進捗状況」のうち基本方針3(1)を説明。

【質疑】

(B委員)

事業 No. 40「オンライン診療支援事業」について、令和6年度、令和7年度の実施内容としてオンライン診療を進める医療機関の募集を行ったとありますが、今後どのように推進していくかお聞かせください。

(事務局)

この事業に関しましては、今年度医療機関の募集を行いました但応募が0件でした。令和8年度以降の取り組みについては担当課へ確認できておりませんが、応募がなかった以上、同じように進めても厳しいと想定されるため、担当課としても医療機関と相談して考えているとは思われますが、少しでも前進するよう検討していきたいと考えております。

もともと、山都是有隣病院系列、高郷は佐原病院系列で診療所が開設されておりましたが、その撤退に伴いオンライン診療の可能性を探っておりました。しかし、オンライン希望者が少なく、佐原病院、有隣病院もバスを運行しており、これを利用して病院に行く方が多い状況です。病院としてもバスの運行に人員や経費を割いており、利用者としてもそちらの方が利便性が良く、希望が上がってこない現状があります。

少子高齢化も進んでおり、いつまでバスが運行されるかもわからないため、オンライン診療については継続して取り組む課題と考えております。

(A委員)

事業 No. 32「要援護者台帳システム(救急キット)整備」について、地域の支えあい会議に参加し、要援護者台帳システムについても注目しているのですが、要援護者がどこにどういう状態でいらっしゃるのか、民生委員でもわからないケースもあると聞いています。台帳自体は進んでいる状況と受け止められますが、どのように還元されているのかご説明をお願いします。

(事務局)

要援護者台帳システムについては、一人暮らしの65歳以上の高齢者や障害をお持ちの方を対象に、いち早く援護ができるよう民生委員の方とも連携しながら取り組んでいるシステムと認識しております。

しかしながら、民生委員の方でも把握できないという実態があるということだと、これまでの情報収集の在り方だけでは限界にきているのではと考えられますので、情報の集め方についても、担当課とよく議論し、実態とのずれをどう減らしていくか、早急に検討していかなければならないと考えております。担当課の意見も伺い、後日正式な回答をしたいと思っております。

(C委員)

事業 No. 40「オンライン診療支援事業」について、医療機関の募集については、喜多方市内の医療機関に対し募集したのでしょうか。昨今はオンラインに特化した病院もあり、また都心の大きな病院ですとオンライン診療を実施している場合もあると思われま

で、そういった病院と連携すれば良いのではと考えました。どのような病院に募集をかけたのかお聞かせください。

(事務局)

市内の医療機関には募集をかけたところですが、市外の医療機関については、担当課に確認の上、後日回答としたいと思います。

(D委員)

同じくオンライン診療について、2点ありまして、まず、市内の医療機関については、佐原病院や有隣病院等は、外来診療とオンライン診療の時間調整をどうするかという問題があると思われ、担当課で臨機応変に対応していると思われませんが、引き続きよろしくお願ひします。

次に、補助金、情報機器で過去に募集をしていたと記憶しておりますが、健康保険証がマイナンバーカードと統合されたこともあり、そちらの適用等にも視野を広げていただくと、病院も利用しやすいと思いますので、提案させていただきます。

(事務局)

ご意見を参考に、担当課とも連携し進めていければと思います。

(事務局 (6 その他の際に補足回答))

後ほど回答としましたオンライン診療の件について、担当課に確認したところ、募集をかけた医療機関については市内医療機関のみであり、またタブレット導入等の補助も市内医療機関に限定し実施しております。事業展開が図られていないという点については担当課も認識しており、今後も検討してまいりますので、何かありましたらご意見等お寄せください。

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画進捗状況」のうち基本方針3(2)を説明。

【質疑】

なし

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画進捗状況」のうち基本方針 共通を説明。

【質疑】

なし